

## 漢文の学習

（標準編～応用編②）

はじめに

本教材は、古典における漢文の学習に関するものです。別途掲載している「漢文の学習（標準編～応用編①）」の改編版です。前回同様に、高校一年生から三年生まで、それぞれ習熟度に応じて、また、必要な部分のみでも活用できます。次ページの表に基づいた問題構成となっており、漢文訓読の基本的事項の確認から、内容読解、また、比較・分析による思考力を高める表現力を磨く学びができます。

★ 後の二つの文章を読み、各問いに答えなさい。

※ 設問の都合上、一部訓点を省略しています。

# 身に付いた「知識・技能」とそれらの活用により「思考力・判断力・表現力」を伸ばす

| 古典   |       |         |  | マークシート式問題  | 一定の基準に基づく記述式問題  | 創造性・独創性・芸術性等を含む<br>(教科等横断的)記述式問題                                 |
|------|-------|---------|--|--|---|--|
| 変換操作 | 全体関係  | 3<br>変容 | 思考力・判断力・表現力<br>↑<br>評価の対象となる能力<br>↓<br>知識・技能 | 傍線部に含まれる句法と同じ句法が用いられている文をA群から選び、その句法名をB群から選びなさい。<br><b>A-3</b> | 「孟母三遷」において、孟母が引っ越しを繰り返した理由について、具体的に200字以内で説明しなさい。<br><b>B-3</b> | 人が学ぶことについて、その機会の観点からあなたならどのように説明しますか。600字以内で述べなさい。<br><b>C-3</b> |
| 複雑操作 | カテゴリー | 2<br>複雑 |  | 傍線部を書き下し文にした場合、正しいものを選択肢の中から選びなさい。<br><b>A-2</b>               | 「孟母断機」における「学何所至矣」という孟母の言葉の意図について、100字以内で説明しなさい。<br><b>B-2</b>   | 人生における選択において、あなたが大切だと考えることについて400字以内で述べなさい。<br><b>C-2</b>        |
| 手順操作 | 単純関係  | 1<br>単純 |  | 傍線部の意味として正しいものを選択肢の中から選びなさい。<br><b>A-1</b>                     | 「孟母三遷」において、孟母が引っ越しをした目的について、30字以内で書きなさい。<br><b>B-1</b>          | 孟母の行動力についてあなたが考えることを、理由を含めて200字以内で説明しなさい。<br><b>C-1</b>          |
|      |       |         |  | <b>A 知識・理解思考</b><br>知識・理解                                      | <b>B 論理的思考</b><br>応用・論理   | <b>C 創造的思考</b><br>批判・創造  |

## 孟子断機

孟子之少也、既学而帰、孟母

方織。

問曰、「学何所至矣。」孟子

曰、「自若也。」

孟母以刀断其織。孟子懼而問

其故。孟母曰、「子之廢学、若

吾断斯織也。夫君子学以立

名、問則広知。是以居則安寧、

動則遠害。今而廢之、是不免

於廝役、而無以離於禍患也。

キトキ

ニ  
ビテ

ルニ

ヒテ  
ハクレニ  
ツ  
ル

B-2

ハク

タリ

テ

ヨ

ツ

ノ

ヨ

レテ

フ

ノ

ヨ

ハク

スルハ

ヨ

キ

ノ

ツガ

ノ

ヨ

レ

ハ

ビテ

テ

テ

ヨ

ヒテ

チ

ム

ヨ

ヨ

テ

レバ

チ

ニシテ

ケバ

チ

ザカル

ニ

A-2

今

而

廢

之

、

是

不

免

ヨ

何以ヨ異テ於ナランヤ織績而食シテ、中道スルニ廢而ニシテ長シテ

不ルニ為サ寧能衣其夫セテ・子ニ、而長ク

不レ乏糧食ニ哉。女則廢其所食チ、

男則墮於脩德チレバ、不為ンバ竊盜サ、則チ

為ラン虜役ト矣。」

孟子懼レテ旦夕メテ勤學不息ニ。師事シ

子思ニ、遂成ニ天下之名儒ト。

(列女伝)

## 孟母三遷

古列女傳、鄒孟軻母、其舍近墓。

孟子少嬉遊、爲墓閒之事。孟母

曰、此非吾所以居處子也。乃去、

舍市傍。其嬉戲乃賈人衒賣之事。

又曰、此非吾所以居處子也。

復徙舍學官之旁。其嬉戲乃設俎

豆、揖讓進退。孟母曰、眞可以居

吾子矣。遂居。

問 傍線A-1の語句「旦夕」の本文中での意味として正しいものを選びなさい。

ア 明日

イ 朝日と夕日

ウ 元日の夕方に

エ 朝から夕方まで

オ 朝か夕方か

カ 今日から明日まで

問 傍線A-2「今而廢之、是不免於廝役、而無以離於禍患也。」の書き下し文として正しいものを選びなさい。

ア 今廢して之く、是で廝役を免ずるに、離れを以て禍患無きや。

イ 今にして之を廢すれど、是れ廝役を免れずして、禍患より離るるを以て無きなり。

ウ 今にして之を廢するは、是れ廝役を免れずして、以て禍患より離るる無きなり。

エ 今廢して之く、是れ廝役を免れずして、無を以て禍患より離るるなり。

オ 今にして之を廢するは、是で廝役を免ずるに、以て禍患より離るる無きなり。

カ 今にして之を廢すれど、是れ廝役を免れずして、以て禍患より離るる無きなり。

〔語注〕

廝役Ⅱ召使い  
禍患Ⅱ災難

問 傍線A-3に含まれる句法と同じ句法用いられている選択肢をA群から選び、その句法名をB群から選びなさい。

## 〔A群〕

ア 求<sub>二</sub>其放心而已矣。

イ 死馬且買<sub>レ</sub>之。況生者乎。

ウ 不<sub>二</sub>亦樂<sub>一</sub>乎。

エ 豈遠<sub>二</sub>千里哉。

オ 後則為<sub>二</sub>人所<sub>レ</sub>制。

カ 百聞不<sub>レ</sub>如<sub>二</sub>一見。

## 〔B群〕

ア 詠嘆形

イ 受身形

ウ 比較形

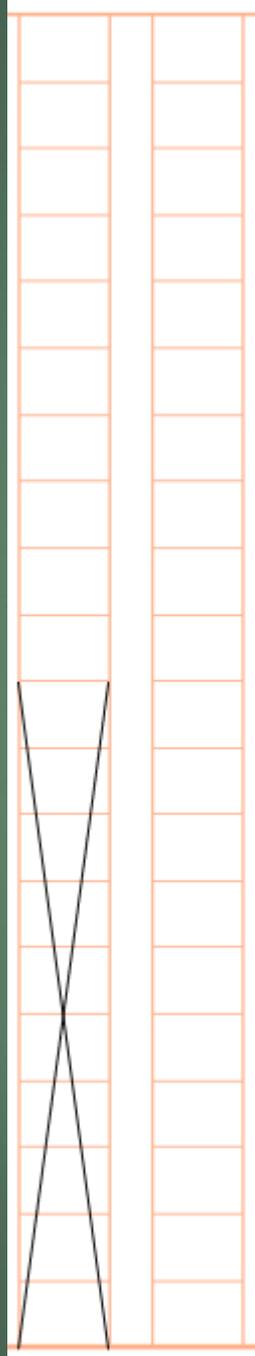
エ 抑揚形

オ 反語形

カ 限定形

問

文章Ⅱ「孟母三遷」において、  
 孟母が  
 引っ越しをした目的について、  
 三十字以内で書きなさい。





問

文章Ⅱ「孟母三遷」において、孟母が引越した家を繰り返し返した理由について、具体的に二百字以内で説明しなさい。



問

人生における選択において、あなたが大切だと考えることについて四百字以内で書きなさい。





※ 書き下し文や現代語訳については、「漢文の学習（標準編～応用編①）」を参照してください。

A-1

工

A-2

ウ

A-3

A

工

B

才

B-1

我が子によりよい教育を施すのに適した環境を整えるため。

B-2

まず孟母は、我が子の孟子が学問に対してどのような姿勢でいるのかを把握しようとした。それにより、孟子に、学問の意味や学問を継続することの価値を考えさせ、その重要性に気づかせたいという意図があった。

B-3

孟母が引っ越しを繰り返したのは、我が子の教育環境を考えたからだ。孟子が幼いときに住んでいた墓地の近くでは、遊びが葬式ごっこになり、教育上よくないと判断した。それで市場の近くに引っ越したところ、孟子は商人が儲けるために口から出まかせを言う姿を真似して遊び始めた。それで孟母は再び学校の近くに引っ越した。すると、孟子は祭祀や礼儀作法を真似た遊びを始め、孟母はこなら教育にふさわしい場所だと安心した。

C-1

C-2

C-3

(略)

漢文の学習

（標準編～応用編②）

おわりに

以上で、漢文の学習（標準編～応用編②）を終わります。

皆さんそれぞれの学年や学習到達度に合わせて、漢文訓読の基本的事項の確認、内容読解、思考力を高め、表現力を磨く比較・分析といった学びになったことを期待します。

なお、記述問題については、友人と解答を交換して、意見交換、相互添削することが対話力向上を図ることもつながり、望ましいです。

混沌としている時代にこそ、多くの書を読み、自ら考えることを鍛え、適切な判断ができる力を磨くのに適しているのかもしれない。そのためにも、古典を紐解くことに価値があります。不透明で予測不可能な時代に、希望の光を自ら見出す力を育んでください。